

◆ 議長記者会見概要

日 時：平成28年6月8日（金） 13：55～14：15

場 所：県政記者クラブ（県庁内）

出席者：中村 昭議長、山本 進章副議長、荻田義雄広報委員会座長



中村 昭議長

山本 進章副議長

荻田義雄広報委員会座長

〈案 件〉

（1）6月定例県議会開会にあたって

議長に就任して1年あまりが経過しました。率直に申し上げまして、1年間はあっという間でした。

1年間の総括ということで、主な出来事についてご報告をさせていただきます。

まず、最も大きな出来事は、昨年9月定例県議会において、議員報酬減額条例が全会一致で議決されたことです。財政状況が非常に厳しい中、県議会の全会派の賛同を得て可決し、年間4,200万円、現議員の残任期(約42ヶ月)の合計で約1億4,600万円の経費削減が図られます。

次に、長年懸案であった虚礼廃止です。昨年12月、議員の総意で、選挙区内における香典については、一切行わないことを申し合わせました。

次に、聴覚障害をもっておられる方々に、開かれた議会を目指す取り組みとして、議会での手話通訳導入に向け、議会改革推進会議で検討してまいりました。テレビ中継やインターネット中継での手話通訳の放映について、来年度からの実施に向けて、必要な対応につき、9月定例県議会で補正予算を予定しています。

次に、関西広域連合への部分参加が実現したことです。3名の議員が、関西広域連合に参加していただきました。

次に、8月には近畿2府8県議会議長会議が奈良県で開催され、国土強靱化に向けた社会資本整備をテーマに関係各府県と意見交流し、11月には近畿6府県議員フォーラムが奈良県議会で開催され、地方自治、観光、医療の3分野で分科会を開催しました。いずれも一定の成果を得たものと自負しております。

次に、1月には政策セミナーを開催し、日本の健康・医療と地域包括ケアシステムの現状と課題について、多数の議員が参加し、熱心に勉強しました。

この役職の経験を生かしながら、今後も議員としての職責を全うしていきたいと思っております。

(2) 高校生議会、燈花会議場見て歩き事業について

第5回目となる高校生議事を8月18日に開催いたします。今年は参議院議員選挙で高校生にも選挙権が与えられ、若者への関心が高まっている中での開催となります。

また、燈花会議場見て歩き事業は、今年で10回目の開催となります。例年どおり議会ミニ音楽会もあわせて予定しております。

(3) 議会改革推進会議の成果について

本会議での手話通訳の導入、意見書調整会議における意見不一致の意見書案については、すべての件名を議会運営委員会で報告することになったこと、委員会における情報端末の活用が認められたことなど、議会改革として大きな進歩がありました。

(3) 熊本地震に係る議員会の義援金贈呈について

議員会では、このたびの熊本地震被害の義援金として、熊本県と大分県に対し、それぞれ10万円ずつ贈呈しました。

<質 疑>

Q：手話通訳の手法など具体的なことは決まっていますか。

A：奈良県では、障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例が4月1日付けで施行され、議会としてしっかり取り組みたいと考えています。平成29年度からの本格実施に向け、平成28年度は試行したい、と考えています。

Q：ベストを身につけられていますか。

A：県と繊維協同組合連合会の合作で、葛の和紙繊維を使用し、県の特産品として売出すというものです。今議会では、代表質問者、一般質問者、議長、副議長、議会運営委員長及び同副委員長が着用しています。着心地は良く、軽くて涼しいです。